

人間生活学部 健康栄養学科

出題年度：2025 年度 小論文課題

<問 2>

【出題意図】

今回の小論文課題の出題意図は、健康栄養学科のアドミッション・ポリシーのうち、「栄養・運動・食文化に強い関心を持ち、健康的な生活を思考・実践したい」人物であるかどうかを判断することを意図している。また、入学後の学修の基盤として求められる知識や能力として、「栄養士として必要な知識を理解するための基礎的学力を有し、健康づくりに生かす能力を身につけたい意欲がある」「課題や問題点に対する解決策の必要性を判断できる」かどうかを評価することを目的としている。

【評価のポイント】

この小論文課題では、持続可能な社会の実現に向けて個人や企業、政府が取り組むべき課題について、広い視点で思考し、自身の考えを明確に表現することができているかが評価のポイントとなる。

例として、以下のような内容が含まれていることが望ましい。

- ・貧困や紛争、気候変動等が原因で食料の供給が不十分な国がある一方で、食料廃棄の問題も深刻である。食料生産システムの構築や技術革新と開発途上国に対する支援、消費者の食品ロス削減に対する意識の向上を通して、目標2「飢餓をゼロに」の実現を目指す。
- ・目標3「すべての人に健康と福祉を」の達成に向け、誰もが適切な医療を受けることができるように、主に開発途上国に対する支援を強化し、医療や衛生状態の不均衡を解消することが重要である。また、不健康な生活習慣や食生活による生活習慣病の増加も深刻であるため、栄養教育を強化しサポートする仕組みの構築が求められる。
- ・個人や社会が資源の保全や食品ロス削減に対する意識を高め、目標12「つくる責任 つかう責任」、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」の実現をめざす。